

令和8年度 酒田市の方向性①



- 人口減少を抑制しながら、一人ひとりが豊かに、幸せに、安心・安全に暮らせるまちを創る。

1. 市民の所得向上 & 若者・女性の定住促進 ～ 豊かに暮らす

地方都市における人口減少の主因は、若者、特に女性が「仕事の選択肢」と「ジェンダー平等な風土」を求めて都会へ転出していること。解決のためには、

- ・ 産業振興（農林水産業を含む）、特に「外貨」を稼ぐ産業や若者・女性が働きたいと思う産業分野の振興
- ・ 性別・年齢・障がいの有無・国籍等にかかわらず働きやすい職場づくり
（えるぼし、くるみん、ユースエール、もにす、健康経営優良法人など）
- ・ 若者・女性の活躍の場づくり

2. 一人ひとりに「居場所」と「出番」のある社会の実現 ～ 幸せに暮らす男性・女性、若者・高齢者、健常者・障がい者、日本人・外国人など、属性にかかわらず社会参画できる地域の構築。そのためには、
- ・ 社会参画（仕事・地域活動）と家庭を両立させる保育・介護サービスの充実
 - ・ 属性にとらわれずに仕事・活動ができる環境整備・意識改革（アンコンシャス・バイアス（無意識の先入観）の除去、ケア労働の見える化、「合理的配慮」の徹底など）
 - ・ こどもの「居場所」づくり（こどもの遊び場（コミセンの活用など）、地域住民の学校への参画（スクール・コミュニティ））
 - ・ 様々な属性の人（当事者）の意見を聴く機会の確保

3. 災害からの復興と安心・安全のまちづくり ～ 安心・安全に暮らす

- ・ 令和6年7月25日大雨災害からの復興
- ・ 防災対策（今年は酒田大火から50年）
- ・ クマ・イノシシ対策
- ・ 松くい虫対策
- ・ 買物弱者対策（＋公共交通対策）
- ・ 空家対策
- ・ 防犯対策
- ・ 交通安全対策
- ・ 地域福祉政策、など

4. 人口減少・気候変動・物価高騰に適応したまちづくり～令和の時代に暮らす

- ・コンパクト・プラス・ネットワーク（公共交通の充実）
- ・地域コミュニティ推進計画の策定（7つの中学校区単位）
- ・デジタル技術の活用（省人化）
- ・熱中症対策
- ・脱プラスチック対策
- ・物価高騰対策、など